

(様式 2)

女性の就農環境改善計画

実施主体名	株式会社アグリシア JAPAN	
取組	(1) 女性が働きやすい環境整備に向けた施設等の確保 (2) 地域の女性グループの活動支援	
構成員数	9人 (うち、女性の人数: 5人)	(令和4年4月時点)

1 事業実施方針

【地域の現状】

株式会社アグリシア JAPAN が所在する千葉県富里市は千葉県北部の北総台地のほぼ中央に位置し、東京都心まで 50～60 キロメートル圏内で、成田空港からも約 5 キロメートルの距離にある。流通面だけでなく、水源や肥沃な農地、自然環境にも恵まれている。主要の産業は農業で、畑作が中心である。耕作面積は畑が約 1380ha、田が約 146ha である。人参は約 550ha の作付けがあり、市町村単位での人参の生産量は日本一である。またスイカは「富里スイカ」としてブランド化を進めており、年々作付けは減少傾向にあるが、「富里スイカロードレース大会」は全国的に有名な大会で例年大盛況である。(2020～2021 年はコロナ感染拡大の為中止)

富里市は 20 代から 40 代の若手農業者が活躍し、毎年数名が新規就農もしているが、全国的な問題となっている高齢による離農や後継者不足は例外でなく、農家戸数は年々減少している。

【株式会社アグリシア JAPAN の概要】

株式会社アグリシア JAPAN は、千葉県富里市で農産物の生産・販売する農業法人で、両親が経営する個人事業を 2008 年に事業継承し、2021 年に法人設立、現在に至る。役員 3 名 (うち女性 2 名)、社員 3 名 (うち女性 2 名)、パートアルバイト 3 名 (うち女性 1 名) で構成されている。20 代から 70 代の幅広い年齢層のスタッフがそれぞれの適正に応じた作業に従事している。

スイカ、とうもろこし、じゃがいも、大根、人参を栽培し、人参は県知事賞受賞 (2015 年)、とうもろこしはふるさと納税返礼品に使って頂き、安定した品質で地域の信頼も高いと自負している。2022 年より苺の栽培を開始予定である。規模拡大に伴って女性スタッフの新規雇用を目指す。

販売先は、JA 出荷、スーパー契約、直売所、EC 販売などで、今後も販路を増やしていく予定である。販売用段ボールや野菜袋のパッケージデザインは女性スタッフ中心に考案、制作している。デザインを専門に学んできたスタッフはおらず、今後より多くのパッケージ制作の為に専門家を交えてのパッケージ制作を予定している。販促活動、イベント出店、収穫体験などでは消費者目線のきめ細やかなサービスを得意とする女性スタッフを多く起用している。

【働きやすい環境整備について】

現在の日本では子育て世代、介護世代にとって家事育児介護の負担がまだまだ女性が多い。働ける時間が限られる方にとって、自由な働き方が選択できる職場は魅力的である。弊社は、子供の保育園の時間に合わせた就労や、個人に合った仕事内容に対応可能で、子供の急病や急な親の介護にも柔軟に応じる就労体制を整えている。また精神的に通常の規則的な勤務が難しい方が体調に合わせて出勤できる対応をとっている。農作業は、工業製品と違って普段親しんでいる野菜の管理、

栽培なので、初めて働く方も働く事に弊害が少ないと思う。体力的に自信のない方や、重い物を運ぶといった重労働が出来ない方でも、体の負担が少ない農業機械のオペレーターや収穫物の袋詰め作業など臨機応変に作業が出来るため、女性が就労しやすい業種でもある。

しかし、富里市は成田空港施設及び周辺宿泊施設に関する産業が盛んで、リネンサプライや機内食の製造等多くの求人がでている。またスポーツメーカーのカスタマーサービスセンターや畜産食品メーカー等の工場も多く、パートアルバイトをする上で魅力的な会社が多い。飲食店やホームセンターなどロードサイド店舗や大型店舗では短時間でも働きやすい環境を整備している

この状況下で女性スタッフの新規雇用、採用後の定着を図る上で、働きやすい環境は必須となる。弊社では、育児・看護・介護休暇や短時間勤務など柔軟な就業環境を整えており、資格取得や研修参加に対しての助成や業務を通じての育成を図り、農業未経験者でも安心して働ける職場作りに尽力している。これまで女性スタッフの声を反映し、更衣室の設置や農業機械の導入、道具の見直し、作業オペレーションの見直しなども行ってきた。

しかし、現在休憩所が事務所と兼用しており、事業拡大を進める上で、取引先との打ち合わせやお客様の対応に休憩所兼事務所を使用することが多い。その為、圃場から戻ってきたスタッフが休憩所で休憩できない状況が発生している。寒さ暑さで過酷な状況下で作業から帰ってきて、肉体労働で疲れた体を癒したい女性スタッフや他のスタッフとのコミュニケーションを楽しみにしている女性スタッフに心苦しい想いをさせている。早急に改善する必要性を感じている。休憩所を新しく設置し、スタッフが安心して働く事ができる環境を整備し職場環境満足度を向上したい。また学校の長期休みの際などお子さんを連れての出勤を推進しており、安全な休憩所を設置することによって、気兼ねなくお子さん達が室内遊びや勉強出来るため、仕事に専念できると思う。今後就農を希望して見学体験に来られた方には、環境整備された農業現場や生き生き働く女性農業者を見て頂き、新規女性就農者の獲得につなげたい。

今後女性の雇用を増やし、女性農業者の活躍の情報発信をしていくことで、地域全体の女性農業者の刺激や新規就農を目指す女性の増加を図りたい。他地域の女性農業者の視察や意見交換会など要望があれば、積極的に実施していきたい。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性就農環境改善に向けた実施体制

(1) 女性が働きやすい環境整備に向けた施設等の確保

- ・農場内に女性専用休憩所としてユニットハウス新規設置

(2) 女性農業者グループの活動支援

・社内の女性スタッフ中心の販売促進部を作り、販売に関する知識を深めるため他地域の直売所への視察、見学を実施する

- ・専門家を交えて商品のパッケージ考案、制作を行う

- ・販売促進についての勉強会を開き、陳列方法、接客方法を学ぶ

- ・テストマーケティングの実施

- ・千葉農業事務所改良普及課と連携し、情報交換、課題改善を考える

弊社事例を千葉農業事務所を通じ、地域女性農業者に波及し、要望があれば研修の受け入れ、意見

交換会を行う

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組)		
① 農業従事者の募集	① 女性1名(2021年)	
② 農業体験・研修等の受け入れ	② 随時	
③ イベント出店	③ 年2回(2020~2021年はコロナ感染拡大の為中止)	
④ 女性農業者活躍など農園情報発信(SNS、メディアへの積極的出演)	④ Instagram 毎日更新	
⑤ 地域関係機関(千葉県農業事務所)との情報交換	⑤ 随時	
(今後の取組)		
① 農業従事者の募集継続	① 女性新規採用4名	
② 農業体験・研修等の受け入れ継続	② 随時	
③ イベント出店継続	③ 年2~3回目標	
女性農業者活躍の情報発信継続	Instagram 毎日更新	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組)		
① 農林水産省「農の雇用事業」雇用就農者育成・独立育成タイプを活用した新規就農者の受け入れ	① 男性1名、女性1名	
② 女性スタッフの声を反映した職場環境整備	② 更衣室設置(2021年)	
③ スタッフ全員での交流会	③ 年2回	

④ 農業女子プロジェクトの参加 ⑤ 近隣小学校の畑見学の受け入れ ⑥ スタッフ家族を招待して収穫体験 ⑦ 女性農業者活躍など農園情報発信（SNS、メディアへの積極的出演） （今後の取組） ① 新規就農者の受け入れ継続 ② スタッフの声を反映した環境整備の継続 ③ 女性が働きやすい職場づくりに関する弊社の取り組み状況についての積極的な情報発信 地域の女性グループの活動支援 地域女性農業者の研修受け入れ 地域女性農業者との意見交換会	④ 女性1名 ⑤ 年2回（2020～2021年はコロナ感染拡大の為先生のみ見学） ⑥ 年1回 ⑦ Instagram 毎日更新 ① 女性新規採用4名 ② 休憩所の新規設置 ③ 随時 ④ 随時	
--	--	--

（注）「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

（3）女性就農環境改善に向けた取組

内容	成果/目標	備考
（実施中の取組） ① 子供の事情等での休暇が取りやすい体制 ② イベント出店 ③ 収穫体験 （今後の取組） ① 子供の事情等での休暇が取りやすい体制継続 ② イベント出店継続 ③ 収穫体験継続 ④ 女性スタッフ中心とした販売促進部発足 ⑤ テストマーケティングの実施 地域の女性グループの活動支援 地域女性農業者の研修受け入れ 地域女性農業者との意見交換会	① 法人設立後離職率0% ② 年2回 ③ 年3回 ① 職場環境が理由の離職率0%目標 ② 年2回（イベント実施状況による）目標 ③ 年6回開催目標 ④ 6月発足 ⑤ 2023年12月 千葉農業事務所セミナー開催時	

（注）農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の就農環境改善対策事業を活用した取組の計画内容

(1) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
2023年9月	憩所としてのユニットハウスの設置し、働きやすい環境整備で女性スタッフの環境満足度向上し、更に女性新規雇用を目指す。	

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(1)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 地域の女性グループの活動支援

【課題】 ※簡潔にご記入ください。※課題番号は必要に応じて追加・削除ください。

①	販売に関する知識不足
②	積極的な発言、意見が少ない
③	デザインに関する知識不足

【課題解決のための補助事業（概要）】 ※課題番号に対応するように記入ください。

①	販売を行っている事業所への視察
②	定期的な意見交換
③	専門家による指導、専門家とのパッケージデザイン考案、制作

【事業成果と今後のプラン】

※課題番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品計画については、翌年度以降の販売事業計画をご記入ください。

①	販売計画を立て、テストマーケティングを行う
②	積極的な女性スタッフの発言、意見、PRで、他地域へのアピールを図る
③	デザインの知識を深め、自分達で制作したパッケージに誇りを持ち販売に繋げる

【事業内容（詳細）】

課題番号	時期	グループ活動内容（対象者・方法等）	事業実施経費（費目、金額）	備考
①	2023年6月	対象者：販売促進部全員 視察先ベリーファームあつた	謝金 13,637円	謝金規定に基づき算出
②	2023年7月	対象者：販売促進部全員	役務費 450,000円	

		専門家とパッケージ考案・製作の為の現状分析、意見交換		
③	2023年8月	対象者：販売促進部全員 専門家とパッケージ考案・製作の企画立案		
④	2023年9月	対象者：販売促進部全員 専門家による販売戦略、接客・ディスプレイの指導、アドバイス		
⑤	2023年12月	対象者：販売促進部全員 視察先成田ファームランドへの交通費（高速道路料金）	旅費 1,200 円 謝金 13,637 円	謝金規定に基づき算出
⑥	2023年12月	対象者：販売促進部2名 テストマーケティング	賃借料 17,500 円 消耗品費（キャッシュドロア）8,164 円	

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	4人
(新規確保女性農業者の内訳)	
自営農業就業者	人、雇用就農者
	人、アルバイト・ボランティア等
	4人

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間30日以上の方とします。
農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。